

# サポハメ ジメツ

— 寝取りの章 —

+ SUPPER

Sapohame Janne

— Chapter 2 : cuck —

Nanatsu no Kagiana presents  
Satoshi Nanakagi  
Fate GO Fanbook









# まえがき

皆様こんにちは、七鍵智志です。

今回は夏コミにて頒布したサポハメジャンヌの続き物です。  
一回目は催眠調教モノでしたが二回目はさらに一步踏み込んだ  
寝取りモノとなっております。

お手にとって頂いた方はご承知のもとだとは思いますが  
万が一知らずに取ってしまった方で寝取りモノが苦手な方は  
お気をつけ下さい。

それではお楽しみ下さいませm(\_ \_)m





ふみまふん…  
まふたー…

はあ

ちゅっ  
はっ

くうっ  
一体どうしたんだい  
ジャンヌ…こんな…

はっ

はっ

はっ



でもが何も言わぬ…  
どうか…どうか私を  
抱いて…下さい…

うっ…  
わかった



ああ…マスター  
ごめんなさい…

私は…あの時の  
あの時の…



あひ…♡

ジャンヌ…  
ジャンヌ…

けど…  
今呪いなんかなくなったって  
本当はあなたと…

あひっ♡  
ちゅっ…  
マスター…♡



ジャンヌーッ

あー♡

あーっ  
あーっ  
あーっ

は……あ……  
全部……挿入ったよ  
ジャンヌ……っ

おたん……

……んっ

遂にマスターの  
おちんぼが  
挿入っ……

あ  
あ  
あ

あ……あれ……っ  
せん……ぶ……っ  
……ま……っ……全部……っ

はあっ  
……っ  
……っ

……っ  
……っ  
……っ

……っ  
……っ  
……っ

ジャンヌッ  
動くよ  
ジャンヌーッ

はあ……っ

あーっ  
あーっ  
あーっ

ああ……  
ダメだ……っ

も……もう……  
もう射精しちゃい  
そうだった

……っ  
……っ  
……っ  
……っ  
……っ



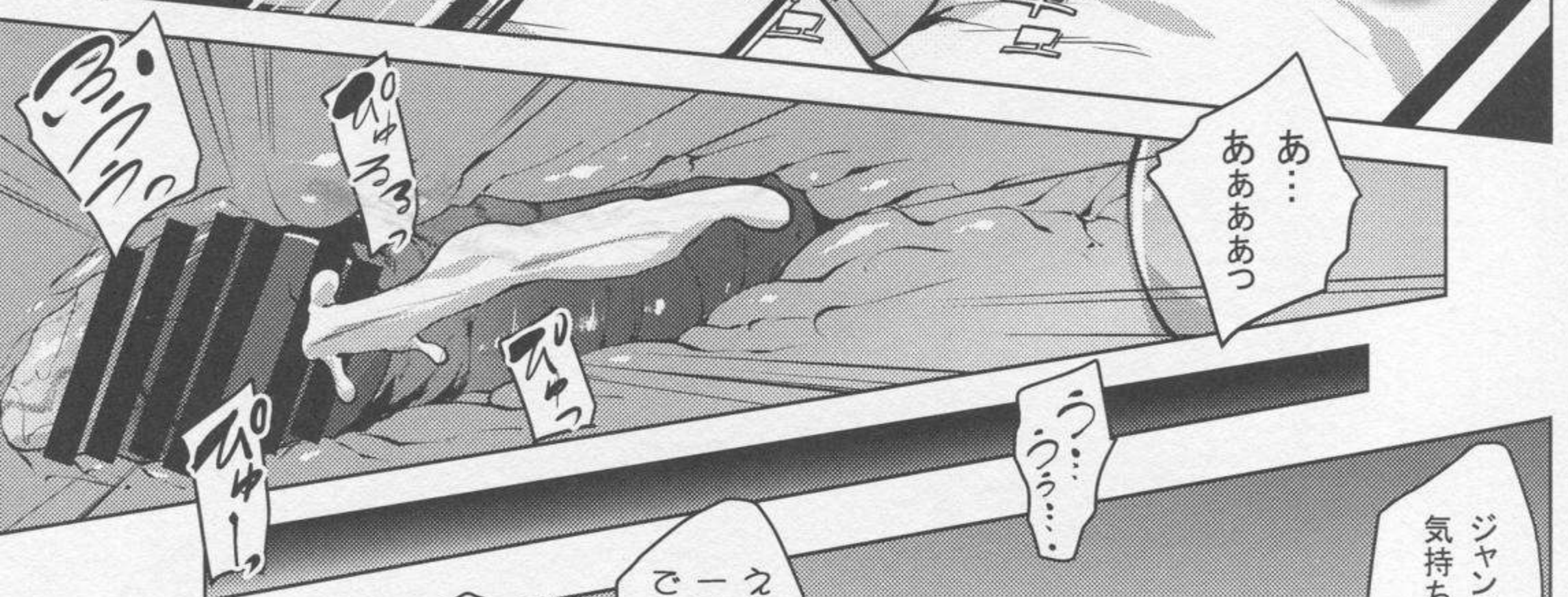


え……っ

11…11ぬこ  
ジャンヌ…

で…出る…  
く……く

そんな—  
まだ挿れたばかり…



あ…  
ああああっ

ジャンヌ……凄く…  
気持ち良かったよ



え……あ…  
一回だけ…?  
で…いいのですか?

い……いえ…  
私も…その…  
幸せな時間…でした

うん  
凄く満たされたよ  
ありがとうジャンヌ

マスターは……  
そう…マスターはきつと  
まだこういうことに  
慣れてなかったのよ

しゅるるっ  
いっ  
いっ





どうした？  
俺は念願を叶えた  
感想を聞いてるんだが？

本当に…  
最低な男

なんだよえらく  
ご機嫌斜めだな

まさかとは思うが…  
満足させて  
貰えなかったのか？

そ…それは

くっく  
マジかよ



自分のサバも  
満足させられない  
駄ちゃんぽだったのか？

た…確かに…  
確かにマスターの  
おちんぼでイクことは…  
…あいませんでした…

今回の催眠は  
「俺の前では思ったことを  
全て正直に話せ」だ



マスターのおちんぼは…  
あなたのおごましいモノ  
とは違い癒ましてこ…  
射精も…早く…

くくく  
短小早漏かよ  
そいつは可愛そうに

で…でもがマスターには  
稚拙ながらも私を一生懸命  
気持ちよくさせようとする  
愛情がありました

あなたこの行為にはない  
「心」が満たされたのです

くくく  
そりゃあよかった  
俺に感謝しないとなあ

…とはいえ

身体は満足しなかった…  
…それも事実だろう？

きやうつ

…否定は  
…しません

はっはっは  
お前の性癖は  
歪んでるからなあ

否定出来る  
のか…？

—ッッ  
そんな…  
ここ…は…

…ッ



心配すんな  
俺はそんなド変態な  
お前が好きだぜ？

くっ——  
そんなことを言われて  
嬉しいわけが…

照れるなよ  
マンコは正直に  
キュウキュウ締め  
付けてくれるぜ？



それから数時間  
今日も私はこの男に  
何度も深くイカされた





そこから…この男の元を  
訪れる度にマスターこの  
SEXも強奪されるようになって

だから嫌でも  
感じてしまう

陰茎の大きさ…  
テクニク…  
精力の高さ…

マスターと…  
この男との…差を…

これを取つても  
マスターが敵う所は  
なかった

悔しいがこの男は  
女を…私を悦ばせることが  
本当に上手かった

興原を…  
断ち切らねば…

けれどマスターは  
この男のサーヴァントを  
気に入っていい  
そんなこと  
言えるわけがない…

このままでは…

一度イカされる度に身体は  
この男を認めていってしまう

マスターも…  
マスターも私がして欲しいこと…  
それさえして貰えれば…  
きつこ…







ダメだよジャンヌッ

ッッ

綺麗なジャンヌの身体を  
酷く扱うなんて……  
そんなこと絶対に  
出来るわけがないっ

ご……ごも……っ

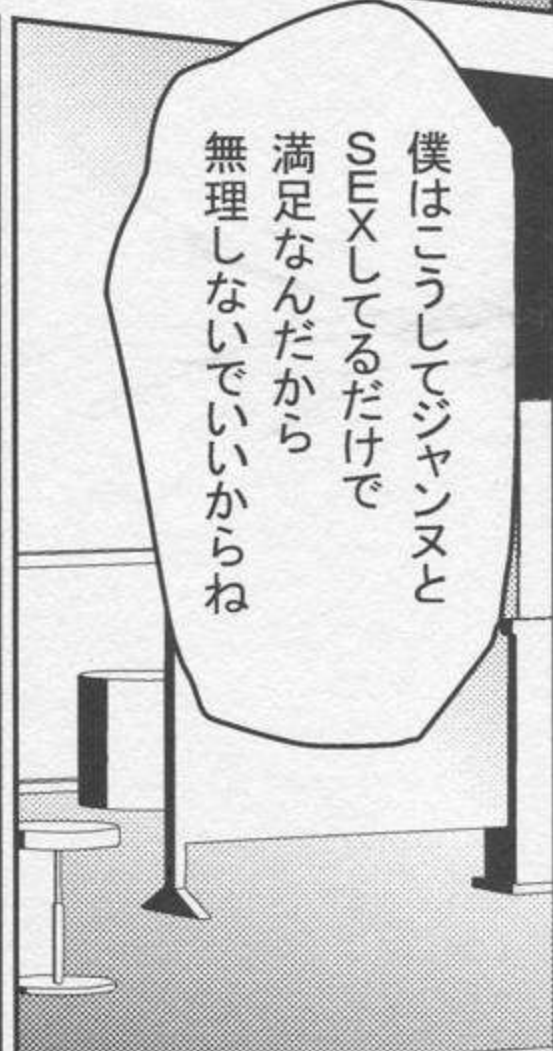
……い……い……  
……ありがとう……  
……ごさいます



……はい

しゅん

ゴッ

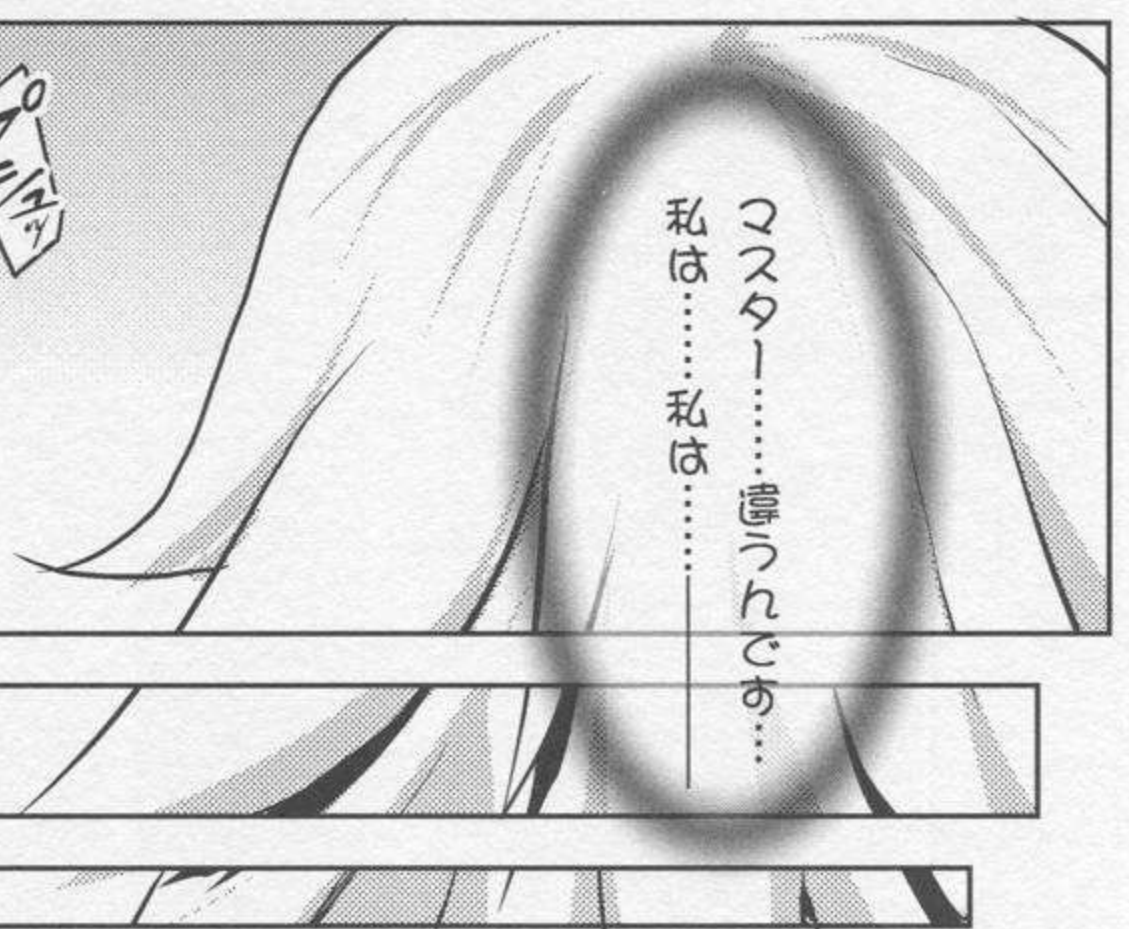


僕はこうしてジャンヌと  
SEXしてるだけで  
満足なんだから  
無理しないでいいからね



マイマイン

ゴッ



マスター……帰ってください……  
私は……私は……



くはははははっ  
マジかよ

マスターは私を  
本当に大事にして  
くれているのですっ

ははっ  
女の欲求を  
汲んでやるのも  
甲斐性だろうか？

して欲しいことを汲む  
どころか否定されたってか

それは……ッ

くくくっ  
わかるぜジャンヌ  
中途半端は  
一番辛いよなあ

俺ならいくらでも  
鎮めてやれるん  
だけどなあ

誰か——  
あなた…等に……っ

くくっ  
身体はそうは言っていない  
みたいだけどな

♡♡♡♡♡



今更何声抑えてんだ  
今までどれだけ下品な  
声で鳴いてきたと  
思ってたんだ

きゅん

♡♡♡

そしてイツてる最中も  
私の弱い部分を集中して  
攻めてくる容赦のなさ…

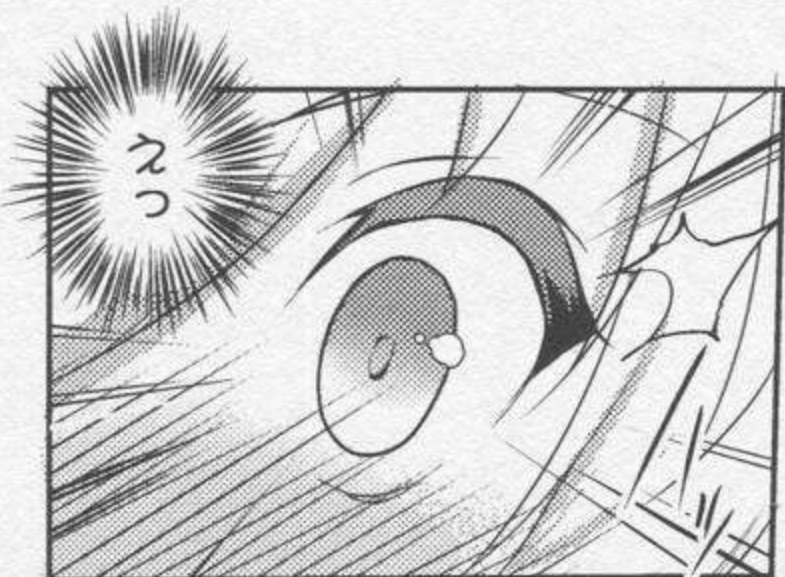
ああ—  
この下卑たなじいじ  
力強い臍振い…

悔しい…40  
この男に抱かれるのは  
本当に





気持ち…  
いいいい♡♡



やだっ  
私…  
声におっこ—

ちが—  
今のほ暖いですっ



くくっ  
いいんだぜジャンヌ  
わかってるよ  
演技だろ？

マスターの為に俺を  
満足させる  
演技をしてるんだろ？

えっ…あ…っ



まじまじ……まじまじ……  
これはマスターの為……

まじまじ……  
まじまじ……

まじまじ……これは演技……  
演技なんです……から……

これ……まじまじ……  
まじまじ……

くくく

オーケーオーケー  
じゃあ演技ついでに  
もっと積極的に俺を  
楽しませること言ってくれよ

まじまじ……

……わかい……ました

あなたのおちゃん

ご主人様

……がいいなあ♪

ニヤリ

……も……も……

もっと私の身体を……  
弄んで……下さい……



ご主人様……の  
お……おちん……ほを……

私の身体で……  
精一杯……ご奉仕させて  
下さい……ませ♡

おおー  
いいねいいね

俄然やる気に  
なってきた

ああ……嬉しい……  
改めて見ると……  
なんてたくましい……  
マスターの二回いは……

ごうご……その……  
そのたくましいおちんほを  
私のおまんこで扱わせて  
下さい……ませ……♡♡

これを……っ  
早くっしを……  
挿れたい——♡

ニイ……



はまきゅん



キ…キタ…ツ♡  
この…  
このおちんぽご…  
私は…♡

は…はひいッ♡  
これ—  
これであウツ♡♡



くははははッ

どうだ—ッ  
このちんぽが欲しかった  
んだろジヤヌウツ



いイッ♡  
気持ちいい♡

あこッ♡



マスターが届かない所まで  
深くえぐってくれる  
このおちんぼが  
欲しかったんであうらッ♡

ああ…これは演技っ  
彼を喜ばせる為の  
演技なんだからあ♡♡♡

あは——ッ♡♡

ひゅー——♡♡♡  
気持ちいいiiiiiiii♡♡♡

くくく  
ほんといい締めりだぜ

っキイイイッ♡

さすがはマスター以外の  
ちんぽでヨがる淫乱聖女様だ

ああ……ッ♡♡  
言わないで♡♡♡

そんな酷いこと  
言わないで下さい♡♡



くくっ  
豚が

本当の「」と言われて  
マンコ締め付けやがる

ごんごん気持ちか  
あつこいっ

盛大に嬉シオン  
垂らしやがって

ああ……

胸の下キレキガ  
止まらない……

♡♡♡♡♡



演技なんて嘘...

ほっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

おん

おん

おん

おん

んおん

認めざるを得ない...

ゴッゴッ

キタねえ女だぜ  
まったく

ゴッゴッ

ゴッゴッ

ゴッゴッ

ゴッゴッ

やっぱり私はもう...  
この世に...

とっくに  
墮とされて  
いたんだ♡

おん

おん

おん

おん



あはあああ♡  
うん——♡

うんうん——♡

うん♡  
うん♡

くくく  
ジャンヌ  
お前どうして  
欲しいんだ？

あ——  
うん——♡  
うんうん——♡

お前のマンコが  
求めるモノは何だっ

聖女なのに変態な  
私を販めて欲しいのああ♡

たくましいおちんぼ——♡  
子宮までしりしりに押し突っこする  
たく長い汚らわしいちんぼあ♡





そうだった  
そうだろうジャンヌ

そんじゃあ

それら全てを与えてくれる  
お前を本当に満足させられる  
男は誰だあつ

ああめ——♡♡

あなた——♡  
あなたですうう♡

♡主人様が本当の  
私を愛してくれるのあめ♡

あなたに抱かれています  
胃だけ私は本当の

ほん……ううの……  
ジャンヌ・タにうう……  
幸せになれるんですうう♡

ねる  
ねる

ねる

んんん

おううう



くははははははっ  
そうだった

お前のご主人様は  
俺なんだよっ

これからは  
俺の命令には  
絶対服従だっ

だがマスターとの  
関係もしっかり保てよお？  
その方がお前もより  
楽しめるだろうからなあ

はひいっ  
はひいっ

はひいっ  
ご主人様このことを思えば  
マスターの粗干しでも  
我慢が出来まおうっ



くははははッ  
よおしい子だ

それじゃあさつきから  
俺のザーメン欲しがってる  
お前の子宮にたっぷりと  
ご褒美をくれてやる

ああっ♥  
くだひゃいっ♥

ご主人様の優等ザーメン  
子宮の奥まで注ぎ込んで  
くだひゃいっ♥♥

ああっ  
今たっぷりと  
くれてやるっ

そら——っ  
そらそらそらそら

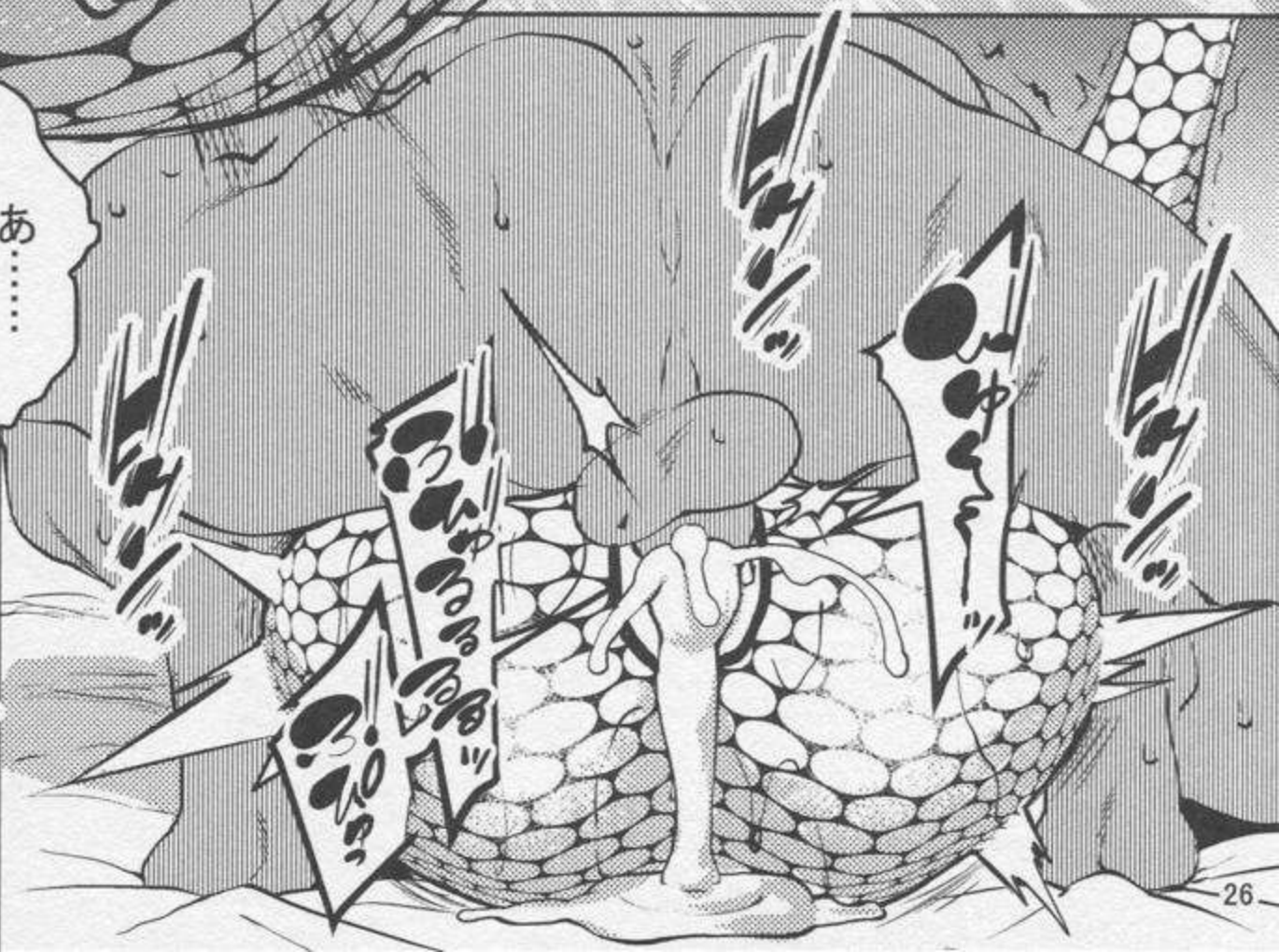
いくぞっ  
いくぞいくぞ  
いくぞおおオオオオ





「ひゅん...  
ちまああ...」

あ...  
あ...  
ああ...♡





そこからは  
ご主人様の言い付け  
通りに行動するように  
なった

あーッ  
あ…あ…あ…

だ…ダメだジャンヌっ  
また  
また  
また出ちゃうっ

んあああああつ

ふふっ  
喜んで頂けて  
何よりです♥

もう僕の精液は  
からっぽだよ

ジャ…ジャンヌ…♥  
回数をこなせばこなす程  
上手くなっていくね



これから例の彼の所に行くんだらう？

はい

どれだけ男に抱かれていたとしても意外と他のオスはそのことに気付かないみたいですし…

Hな匂いとか…  
その…  
…大丈夫かな？

いいえ…  
なんでもありません

ふふっ  
大丈夫ですよマスター

ま…まあ  
彼には世話になってるから失礼のないようにね

フフッ  
もちろんです♡

それでは  
行ってきますね…  
マスター

え？

…そっか？



# あとがき

お疲れ様でした。  
如何でしたでしょうか。お楽しみ頂けていたら嬉しいです。

以前にも話したことがあるかもしれませんが私は寝取りはいいんですが寝取られは結構苦手です。出来るだけ読んでいる方には寝取り男の視点でお送りできるようにしました。

もっともっと描きたいシーンやねちっこい表現もしたかったんですが今回はこんな感じに収まりましたね。  
個人的にはマスターと寝取り男とで交互にSEXをし続け差を見せつけられていくところがお気に入りですかね。  
オスとしての優位を自覚させられてい様は興奮するよね！

さて、このお話はここで終わりになりますが次回も催眠モノでやっていきたい感があります。  
オリジナルか二次創作かはわかりませんが又ける作品になるよう頑張りますので次回も是非宜しくお願い致しますー！

では今回はこの辺で  
ありがとうございましたm(\_ \_)m



# 奥付

発行 : 七つの鍵穴  
発行者 : 七鍵智志  
発行日 : 2018/12/31  
印刷 : スズトウシャドウ印刷 様

Twitter : nanakagisatosi  
youtube : 七鍵nanakagi

fantia・pixivFANNBOXにて支援受付をしております。  
是非宜しくお願い致します。

※著作物を無断でアップロード・転売・転載することは違反です。  
しかるべき措置を取る場合もございますのでお止め下さい。



# Sappohame

Comic Market 95

# Jeanne

-Chapter 2: cuck-

許可の転載、再発行、無断複製を一切禁止します。

No reproduction or republication without written permission.

Twitter : @nanakagisatosi / Youtube ch : <https://www.youtube.com/channel/UC3AdnqVzgbn5HkWEiYEGaw>